

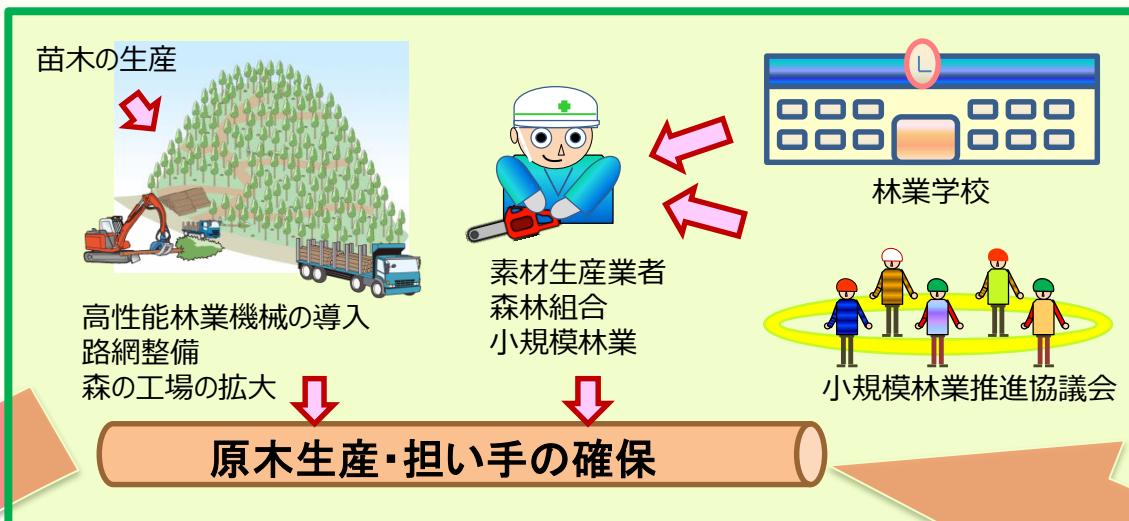
分野を代表する目標	木材・木製品製造品出荷額等	現状 (H26) 204億円⇒4年後 (H31) 220億円⇒6年後(H33)232億円⇒10年後 (H37) 256億円
	原木生産量	現状 (H26) 61万m3⇒4年後 (H31) 78万m3⇒6年後(H33)81万m3⇒10年後 (H37) 90万m3

柱1 原木生産のさらなる拡大

- 生産性の向上による原木の増産
 - ◆森の工場の拡大・推進
 - ◆効率的な生産システムの導入を促進
 - ・高性能林業機械等の導入
 - ・路網の整備
 - ◆皆伐の促進
 - ◆原木の安定供給システムの構築
- 持続可能な森林づくり
 - ◆[新規]苗木の生産体制の強化
 - ◆再造林への支援と低コスト育林の推進
 - ◆間伐の推進



構築した川上から川下までの仕組みを生かして、 “森の資源”を余すことなく活用



柱5 担い手の育成・確保

- 林業学校の充実・強化
 - ◆林業学校における人材育成
 - ◆森林組合等の県内事業者への雇用促進
- きめ細かな担い手確保の強化
 - ◆林業労働力確保支援センターと連携した就業者の確保
 - ◆移住施策との連携による担い手の確保
 - ◆特用林産業新規就業者の支援
- 事業者の経営基盤の強化
 - ◆林業事業者のマネジメント能力向上
 - ◆林業事業者における就労環境の改善
- 小規模林業の推進
 - ◆[拡充]小規模林業の活動を支援

柱4 木材需要の拡大

- 住宅・低層非住宅建築物等における木材利用の促進
 - ◆[新規]低層非住宅建築物の木造化の促進
 - ◆県産材を活用した木造住宅建築の促進
- CLTの普及
 - ◆CLT建築物の需要拡大



拡大再生産へ！

林業・木材産業 クラスターの形成

柱2 加工体制の強化

- ラミナ製材工場の稼働開始
- 高次加工施設の整備
 - ◆[新規]集成材工場の整備
 - ◆CLTパネル工場の整備
- 製材工場の強化
 - ◆製材所の加工力強化
 - ◆県内企業による協業化・大型化の検討

柱3 流通・販売体制の確立

- 流通の統合・効率化
 - ◆県外流通拠点を活用した取引の拡大
 - ◆トレーラー等による低コスト・定期輸送の増加
 - ◆外商活動体制の抜本強化
- 販売先の拡大
 - ◆県外での土佐材を使用した建築の推進
 - ◆[拡充]海外への販売促進



森の資源を余すことなく活用

バイオマス利用

- 木質バイオマス発電所の安定稼働
- 木質バイオマスの利用拡大
 - ◆木質ペレット等の安定供給の促進
 - ◆幅広い分野での木質バイオマスボイラー導入の拡大
 - ◆木質バイオマス発電の促進



木質バイオマス発電所 2箇所 (H27稼働)

ラミナ製材工場 (H27整備)

高知おおとよ製材 (H25稼働)

県外流通拠点 土佐材パートナー企業

県外

海外